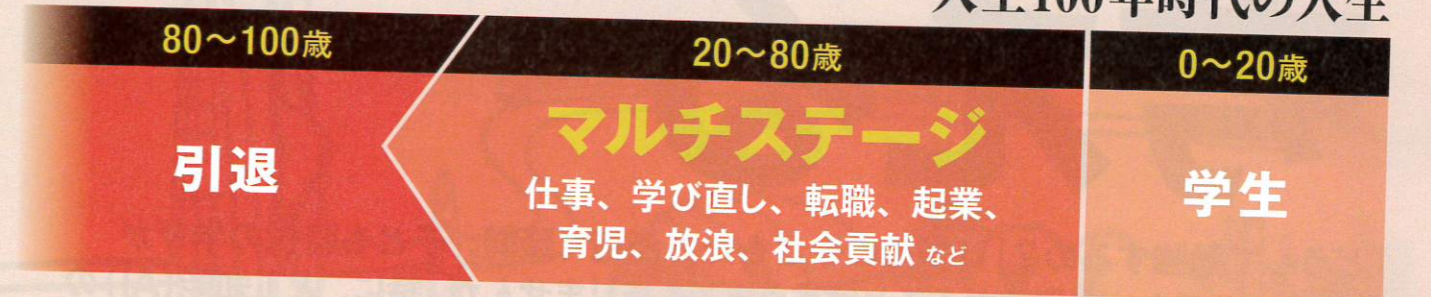


を待つのはどんな未来?

人生100年時代になると…

人生100年時代の人生



従来の3ステージ型の人生



お話を聞いたのは



株式会社ライフソフト
CEO
徳岡 晃一郎氏
東京大学卒業、オックスフォード大学で経営学修士号取得。日産自動車などを経て米国のコンサルティング大手の日本法人役員に。人事、企業変革などのコンサルティングに従事。2017年にライフソフト社を創業。多摩大学大学院教授も兼務。

常に学び、幅広い経験を積んで自分の資産を増やす

子どもたちが大人になり、社会の中心で活躍する、今から10年、30年先の未来。そのキーワードは「グローバル、デジタル、環境」と、株式会社ライフソフトCEOの徳岡晃一郎氏は語ります。「人口減少が進む日本国内の市場は縮小する一方。グローバル化を推進する側に回らなければ衰退するしかありません。デジタルについても、AIが人間の知能を上回る『シンギュラリティ（技術的特異点）』が、新型コロナウイルス流行の影響もあって以前の予想より15年ほど早まり、2030年頃になると言われています。今後を生きる上で、まずこの二つへの対応は必須です」

環境面においても、脱炭素、脱プラスチックを図りながら、より節度あるライフスタイルになっていくと徳岡氏は分析します。

こうした社会情勢の変化に加え、長寿化も進んでいます。人生が100年続くことを前提に、「60歳定年」から「80歳でも現役」への転換が進む中で課題となるのが「学び直し」です。

「これまでの人生は、3ステージ型で、だいたい最初の20年は学びの期間、次の40年が労働の期間、そして老後というのが一般的でした。しかし寿命が延びて、社会の変化が加速すると、知識やスキルを頻繁にアップデートする必要が出てきます。同じ仕事をずっと続けるという前提もなくなるので、活躍し続けるには常に学び、経験を積んで自分のキャリア資産を増やす努力が必要です」

このような未来を子どもたちがたくましく生きていくには、どのような知識や学びの姿勢が必要なのでしょう。

徳岡氏は「未来に軸足を置いて」とアドバイスします。「時代を予見することがどんどん難しくなる中、指針となるのは

子どもたち

“学ぶ意義”を
考える

「自分が未来をどう生きたいか」です。夢を持って、なりたいたい自分を意識して生きる姿勢が大切です」

ほかにも、ビッグデータの読み方などデジタルに関する知識や、世界を舞台に生きるというマインドを徳岡氏は挙げますが、もう一つ大切なことがあると言います。「『ヒューマン』の部分の磨きとです。デジタル化の負の側面として、情報格差や社会の分断を生むことが懸念されています。人同士がつながるためには、優しさや共感といった、AIには代替できない人間力、コミュニケーション力が不可欠。そしてこれは、和を大切にす文化を持つ日本人の得意分野でもあると思っています」

日本が強みを発揮し再び世界で存在感を示すには

日本は長らく経済が低迷し、GDP（国内総生産）も伸び悩んでいます。今後、勢いを取り戻し、世界に再び存在感を示すことはできるのでしょうか。徳岡氏は「今

AIを活用したイノベーションに期待

からGAF A（※）のようなプラットフォームをつくっても勝負することは難しい」と指摘します。「たとえばグーグルは毎年、世界中からトップレベルの優秀な人たちを採用していますが、日本は全体的にグローバル化、デジタル化において周回遅れ。相当、大きく転換しなければ浮揚できません」

しかし、日本がものづくりの領域でデジタル化を推進し、イノベーションを起こすことができれば、希望はあると言います。「日本にはまだまだ世界に通用する技術力があります。AIとものづくりを合わせるとなれば活路はあるはず。だから子どもたちには、もともと技術に興味を持ってほしい。また、安く大量生産する時代ではなくるので、上手にお金を生み出す知識も必要であり、技術とデジタルの知識を生かして儲かる仕組みをつくるための教育が大切になります。でも、若い世代が世界に目を向けて、こうした力を磨くことで、もつと良い未来を実現できると信じています」

学びの意義の変遷

高度経済成長期

与えられた課題の
解決を目指す

製造業を中心に、大量生産・大量消費で日本経済が成長を遂げた時代。均質な労働力が求められ、子どもたちの学習においても、いかに知識を増やし、与えられた課題を速やかに解決するかという点が重視されていた。

平成時代

個性追求の一方、
迷走も

バブル崩壊後の“失われた30年”と呼ばれる長い停滞の時代。ゆとり教育のように個性を追求する風潮もあったが、学力が高くても年取に結びつかないといったことから学びへの期待が失われ、迷走した面もあった。

これから

未来の自分に軸足。
世界に目を向ける

社会変化が加速し、予測が困難な時代。長寿化によって現役時代が長くなるため、常に新しい知識や技術を学び続けることが当たり前になる。「未来になりたい自分」を指針に、「デジタル」と「ヒューマン」両方の力を高めていく。

※GAF A：グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾンの略称。